 <b>JWRC</b> <b>水道ホットニュース</b>	<b>(財)水道技術研究センター</b> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail <a href="mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp">jwrchot@jwrc-net.or.jp</a> URL <a href="http://www.jwrc-net.or.jp">http://www.jwrc-net.or.jp</a>
---	--

## 平成18年度における配水池耐震施設率 —水道統計に基づく試算結果(その1)—

### (はじめに)

水道ホットニュース第119～121号では「平成18年度における基幹管路耐震化率」について、水道ホットニュース第122～124号では「平成18年度における浄水施設耐震率」について、試算結果をお知らせしましたが、今回からは「平成18年度における配水池耐震施設率」について、水道統計に基づく試算結果を提供することとします。

なお、配水池耐震施設率(%) = 「耐震対策の施されている配水池容量」 ÷ 「配水池総容量」 × 「100」

とし、具体的には、平成18年度水道統計から、次のデータを用いて試算を行いました。

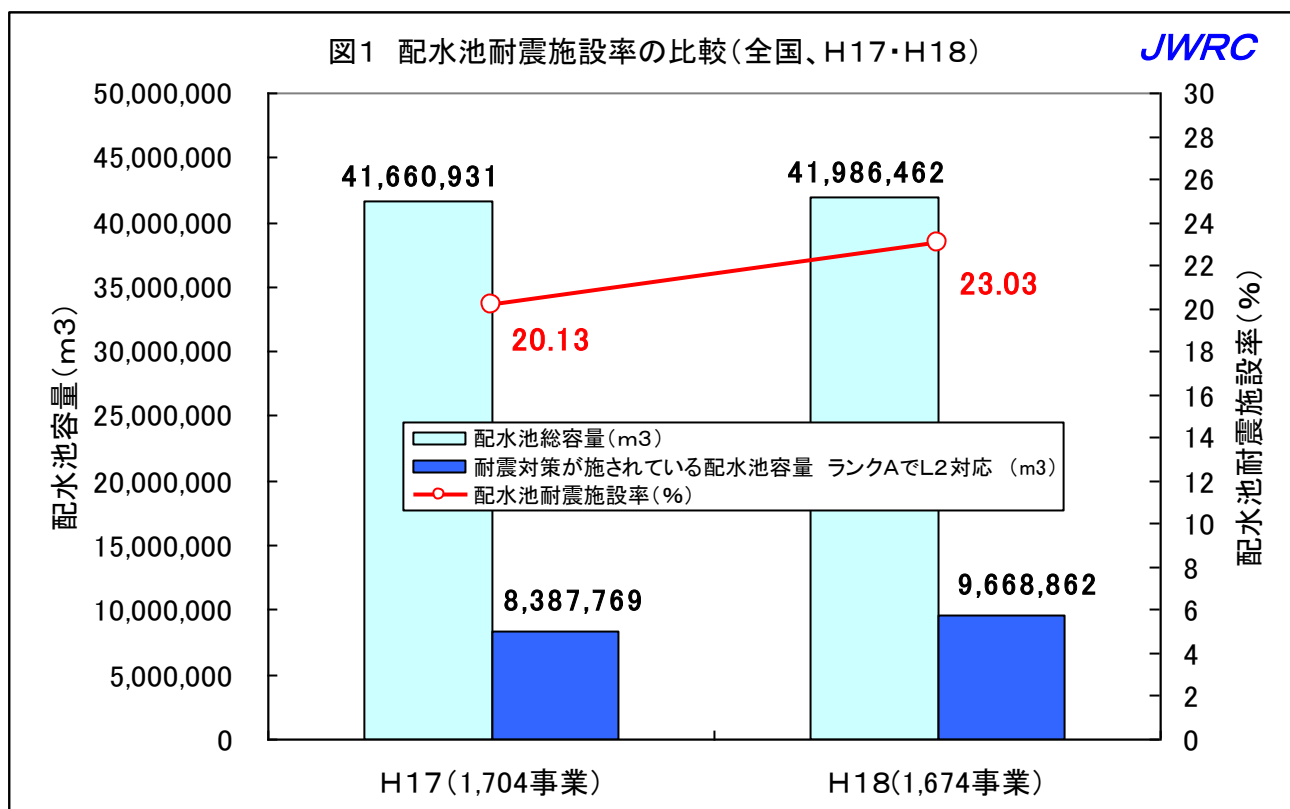
配水池耐震施設率	(耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量) × 100	耐震対策の施されている配水池容量	耐震対策が施されている配水池容量 ランクAでL2対応
		配水池総容量	浄水施設-浄水池-有効容量 浄水施設-配水池-有効容量 配水施設-配水池有効容量 配水施設-配水塔有効容量 緊急用貯水槽等-水道事業体設置-飲料水・生活用水

(注) 試算結果では、配水池耐震施設率が100%を超える事業がみられますが、ここでは、そのまま掲載していることをお断りするとともに、ご留意をお願いします。

## 1. 配水池耐震施設率の比較(全国、H17・H18)

平成18年度における配水池耐震施設率(上水道1,572事業及び水道用水供給102事業の合計)は「23.03%」で、平成17年度の「20.13%」に比べ、「2.9ポイントの上昇」となっている。

	配水池総容量(m <sup>3</sup> )	耐震対策が施されている配水池容量 ランクAでL2対応 (m <sup>3</sup> )	配水池耐震施設率 (%)
H17(1,704事業)	41,660,931	8,387,769	20.13
H18(1,674事業)	41,986,462	9,668,862	23.03
H18-H17	325,531	1,281,093	2.90



## 2. 上水道事業・水道用水供給事業別にみた状況（平成18年度）

平成18年度における配水池耐震施設率を上水道1,572事業・水道用水供給102事業別にみた状況は、

- \*上水道1,572事業における配水池耐震施設率 23.67%
- \*水道用水供給102事業における配水池耐震施設率 18.68%
- \*合計（1,674事業） 23.03%

となっている。

図2-1は、平成18年度における上水道事業・水道用水供給事業別にみた配水池耐震施設率等をグラフで示したものである。

図2-2は、上水道事業における配水池耐震施設率等について、平成17年度と平成18年度の比較を行ったものである。

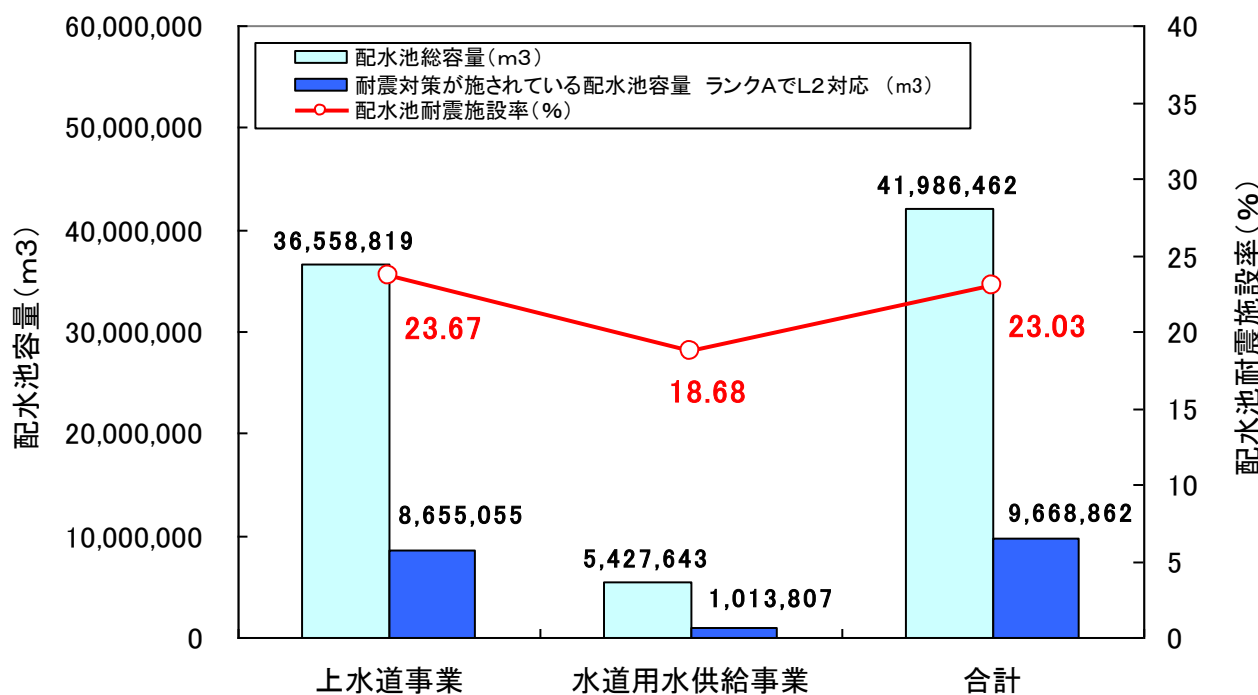
図2-3は、水道用水供給事業における配水池耐震施設率について、平成17年度と平成18年度の比較を行ったものである。

### [上水道事業・水道用水供給事業別にみた配水池耐震施設率（平成18年度）]

H18	配水池総容量 (m³)	耐震対策が施されている配水池容量 ランクAでL2対応 (m³)	配水池耐震施設率 (%)
上水道事業	36,558,819	8,655,055	23.67
水道用水供給事業	5,427,643	1,013,807	18.68
合計	41,986,462	9,668,862	23.03

図2-1 上水道事業・水道用水供給事業別にみた状況(平成18年度)

JWRC

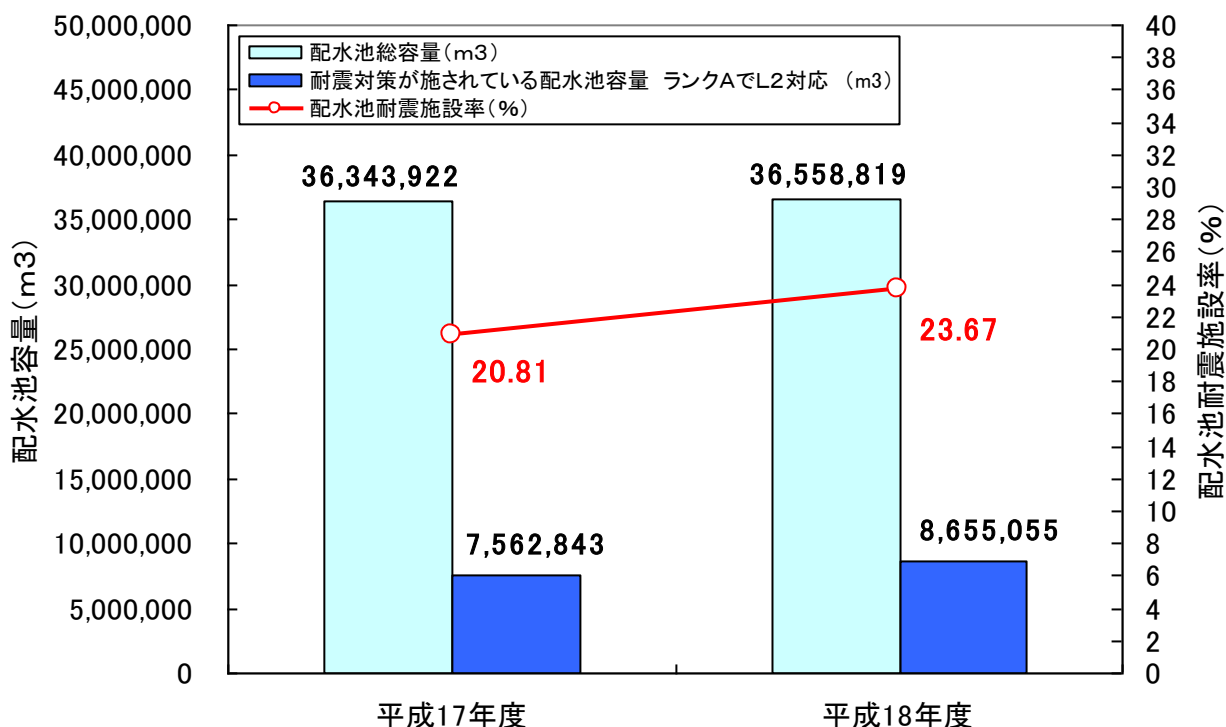


[上水道事業における配水池耐震施設率 (H17・H18比較)]

	配水池総容量(m <sup>3</sup> )	耐震対策が施されている配水池容量 ランクAでL2対応 (m <sup>3</sup> )	配水池耐震施設率(%)
平成17年度	36,343,922	7,562,843	20.81
平成18年度	36,558,819	8,655,055	23.67
H18-H17	214,897	1,092,212	2.86

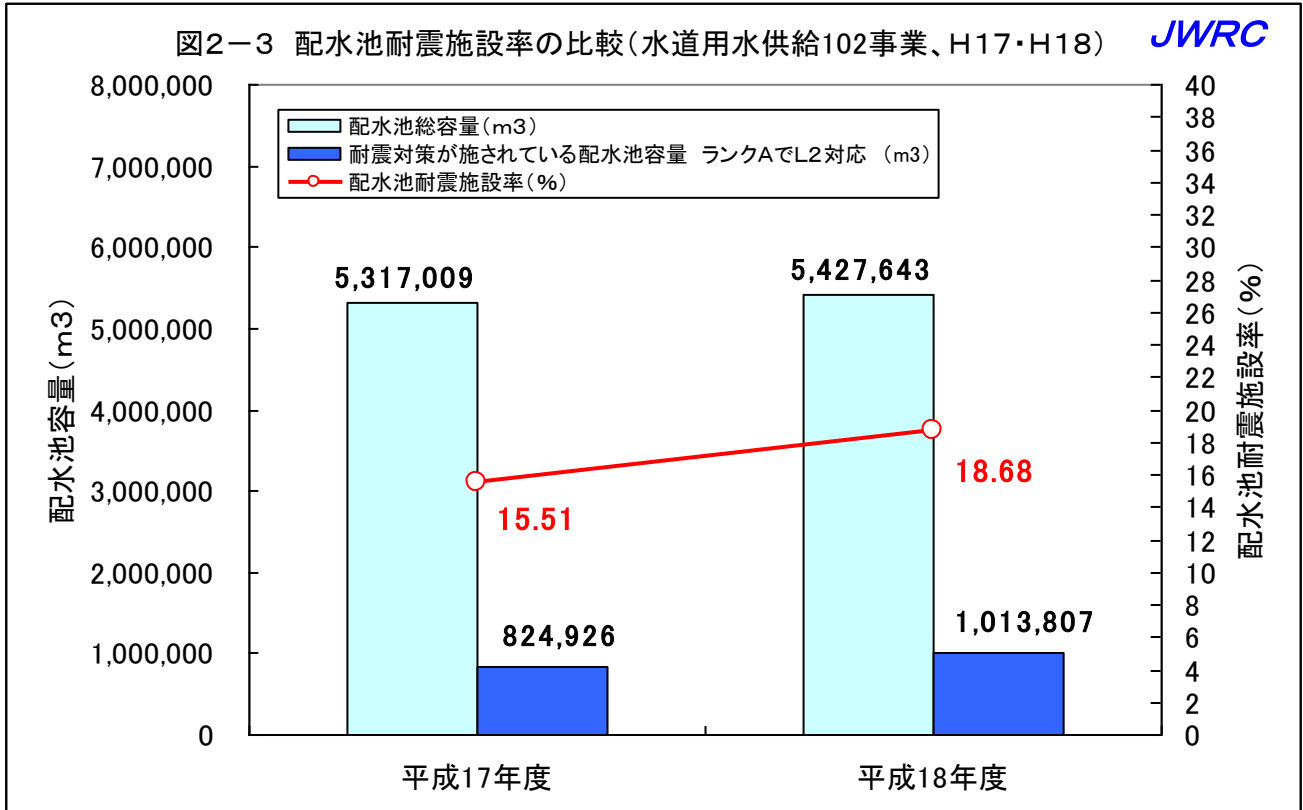
図2-2 配水池耐震施設率の比較(上水道1,572事業、H17・H18)

JWRC



[水道用水供給事業における配水池耐震施設率 (H17・H18比較)]

	配水池総容量(m3)	耐震対策が施されている配水池容量 ランクAでL2対応 (m3)	配水池耐震施設率(%)
平成17年度	5,317,009	824,926	15.51
平成18年度	5,427,643	1,013,807	18.68
H18-H17	110,634	188,881	3.17



### 3. 都道府県別にみた状況

図3-1及び図3-2は、平成18年度における都道府県別にみた配水池耐震施設率等を、都道府県順に示したものである。

図3-3及び図3-4は、平成18年度における都道府県別にみた配水池耐震施設率等を、率の高い都道府県順に並べたものである。

図3-5及び図3-6は、都道府県別にみた配水池耐震施設率について、平成17年度と平成18年度の比較を行ったものである。

なお、都道府県別にみた配水池耐震施設率の上位5府県及び下位5件は、以下のとおりである。

上位5府県	平成18年度 配水池耐震施設率(%)	平成17年度配水池耐震施設率(%) 及び都道府県別順位
第1位:愛知県	56.43	53.25(第2位)
第2位:熊本県	50.17	53.87(第1位)
第3位:大分県	42.62	42.71(第3位)
第4位:千葉県	38.39	36.80(第4位)
第5位:三重県	38.31	33.76(第5位)

下位5県	平成18年度 配水池耐震施設率(%)	平成17年度配水池耐震施設率(%) 及び都道府県別順位
第47位:長崎県	1.62	0.55(第47位)
第46位:沖縄県	6.73	6.87(第46位)
第45位:青森県	8.35	7.86(第44位)
第44位:宮城県	8.59	8.52(第43位)
第43位:群馬県	10.24	9.28(第41位)

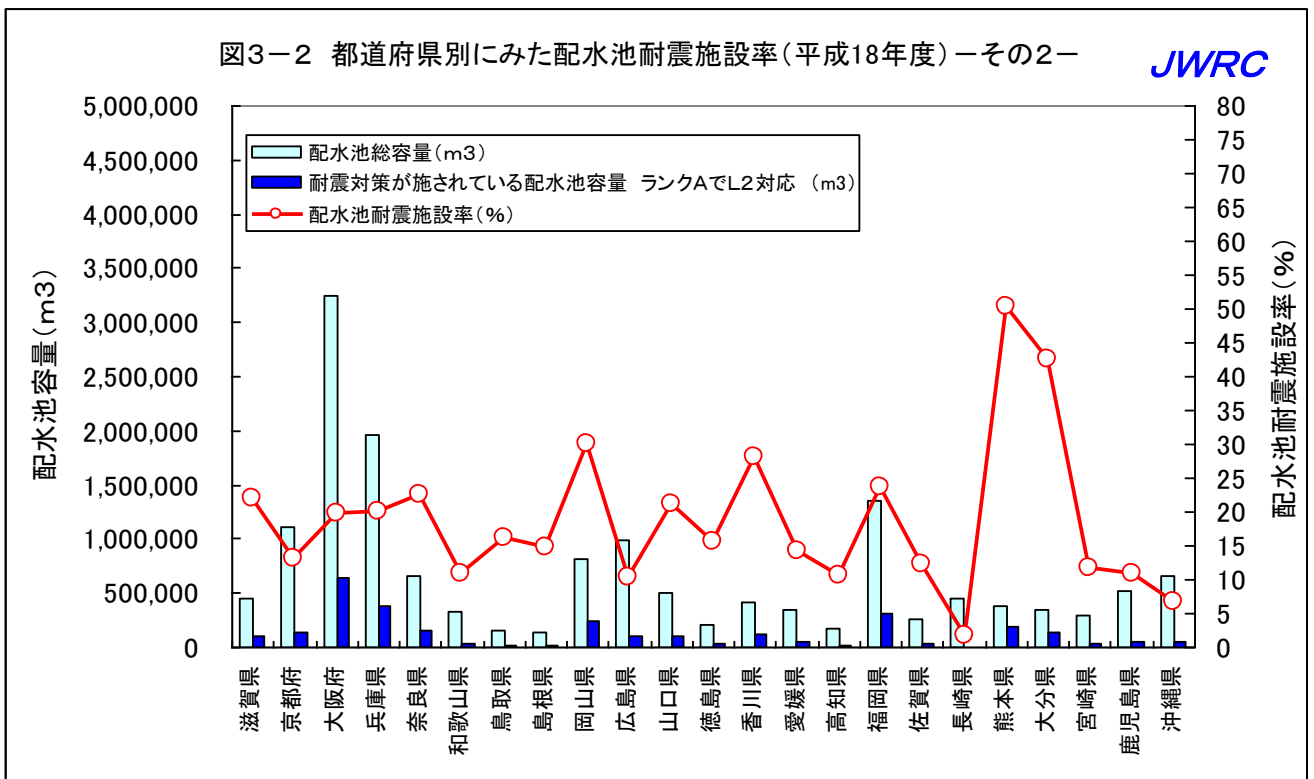
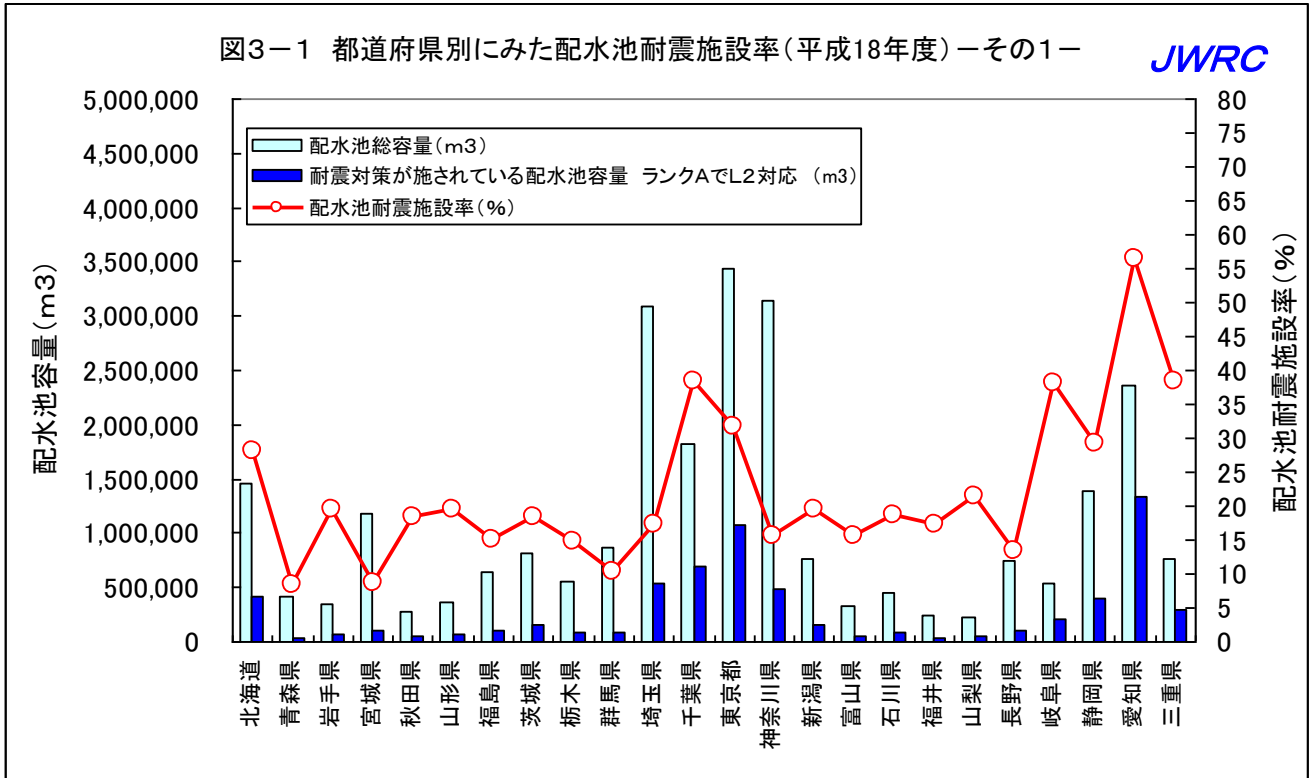


図3-3 都道府県別にみた配水池耐震施設率(平成18年度)  
配水池耐震施設率の高い順-その1-

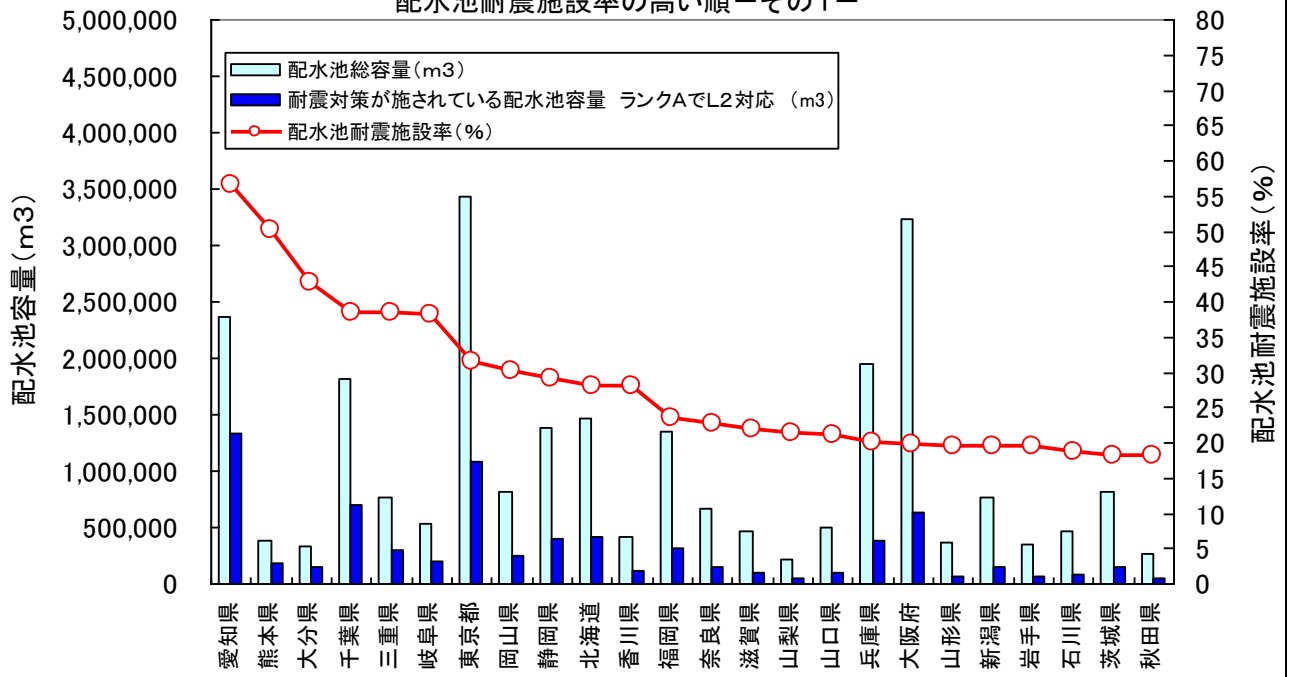


図3-4 都道府県別にみた配水池耐震施設率(平成18年度)  
配水池耐震施設率の高い順-その2-

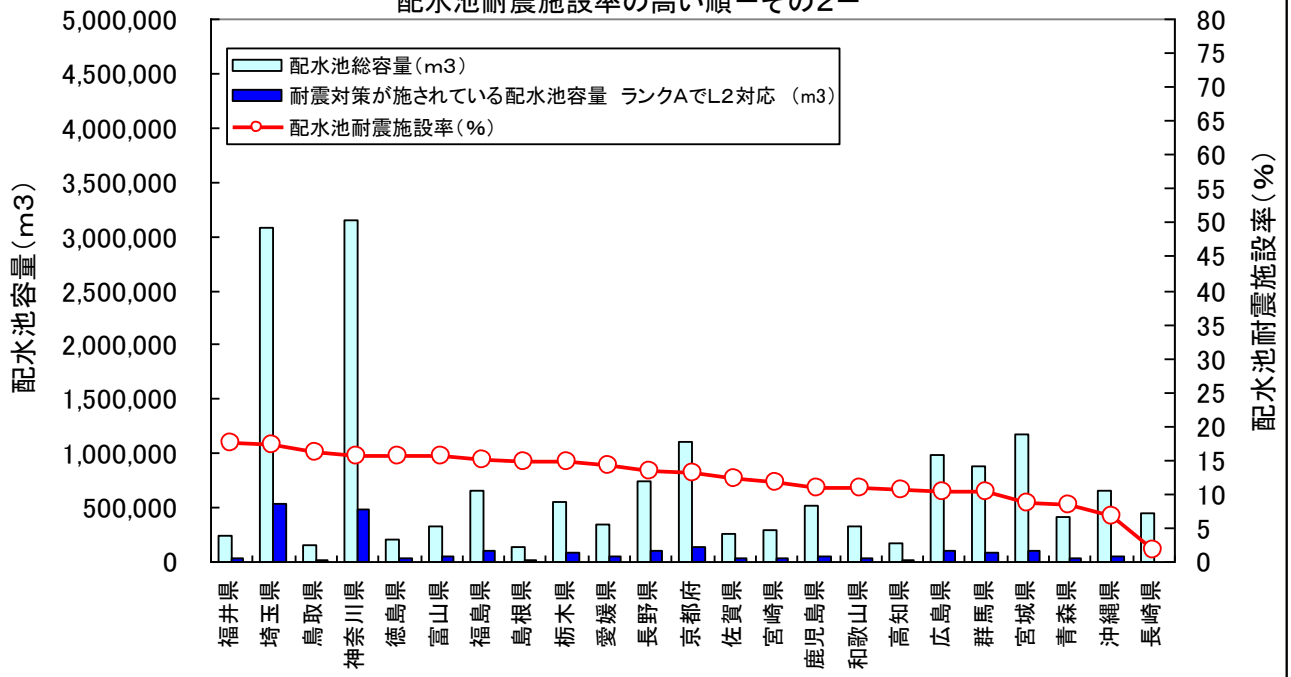


図3-5 都道府県別にみた配水池耐震施設率の増減(H18-H17) - その1- JWRC

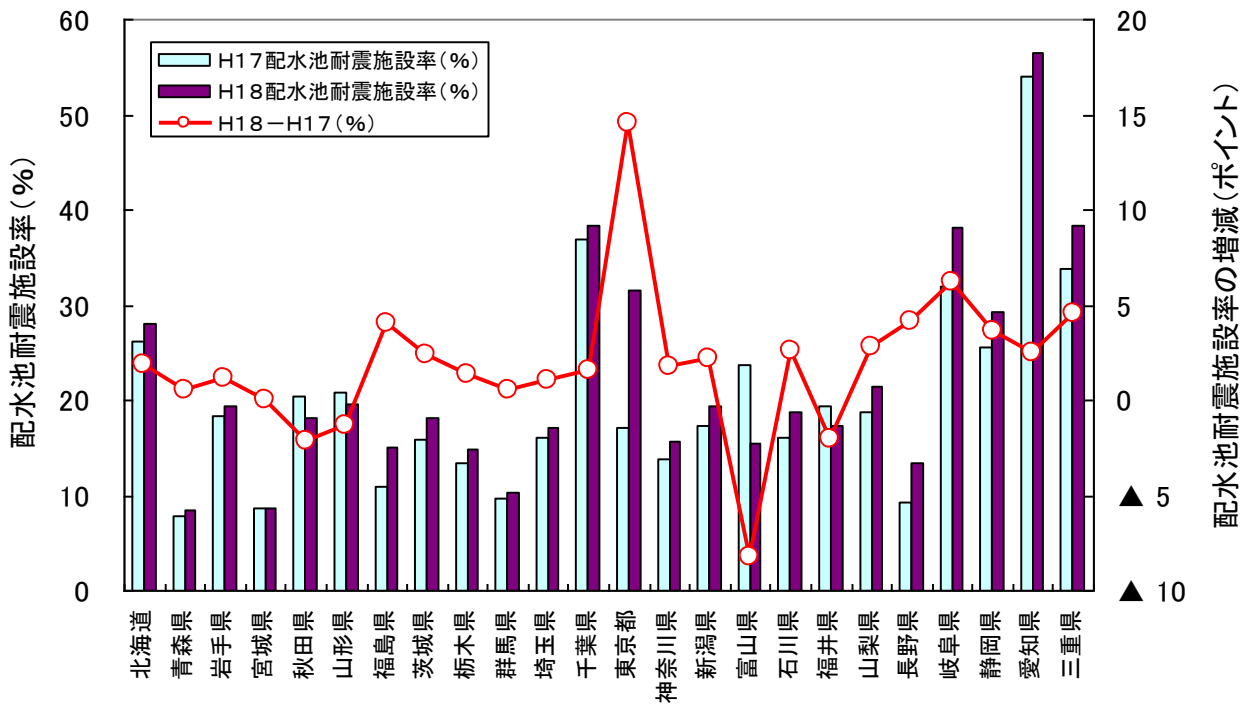
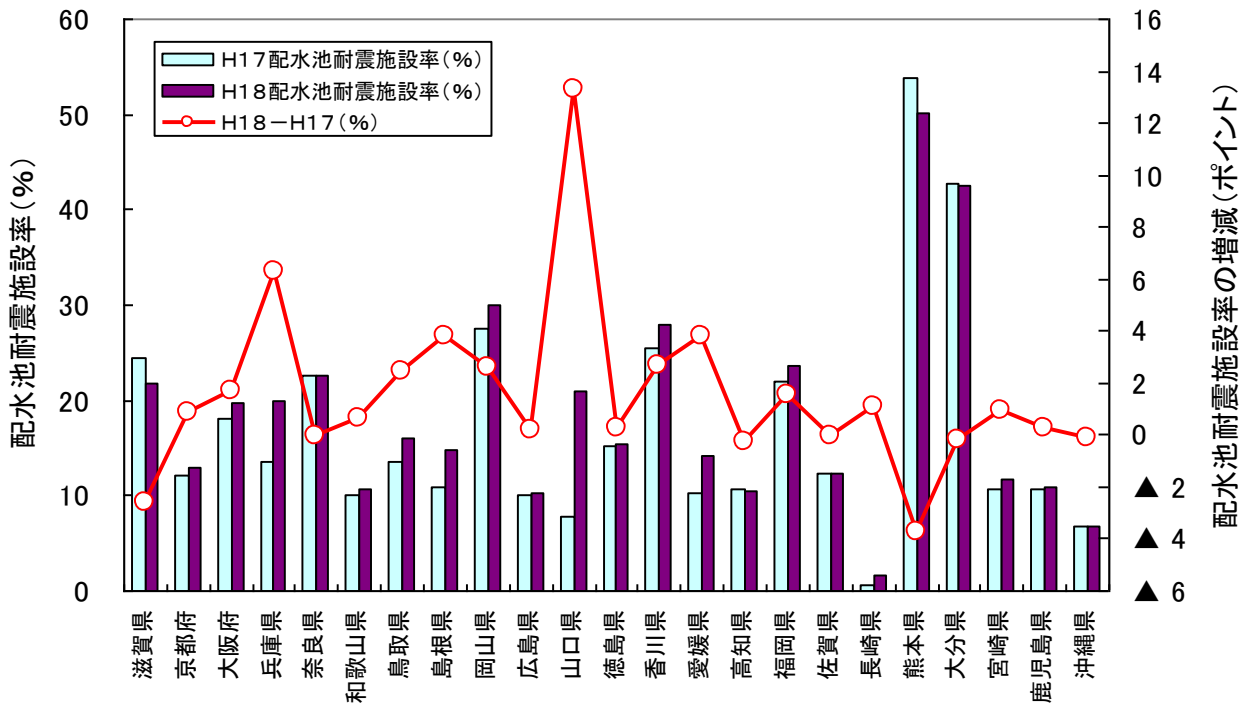


図3-6 都道府県別にみた配水池耐震施設率の増減(H18-H17) - その2- JWRC



(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

---

### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。